

生体防御医学研究所セミナー

本研究所主催のセミナーを昭和 60 年度より開催しており、平成 11 年度も引き続き遺伝学部門がセミナー係を担当した。平成 11 年 4 月より平成 12 年 3 月までに第 251 回から第 269 回までのセミナーが行われ、講演者および演題は次のとおりであった。

251 回 平成 11 年 4 月 5 日 (月)

宮崎 徹 先生 (Basel Institute of Immunology, Basel, Switzerland)

“AIM, a novel apoptosis inhibitory factor: its cloning and functional characterization in vivo”

252 回 平成 11 年 3 月 30 日 (火)

Prof. Jorge Kalil (Allergy and Clinical Immunology, University of Sao Paulo, School of Medicine)

“Streptococcus x heart crossreactive T cells in human cardiac rheumatic disease.”

253 回 平成 11 年 4 月 28 日 (水)

筒井 裕之 先生 (九州大学医学部附属病院・循環器内科)

「力学的負荷に対する心筋の適応破綻 - 細胞骨格及び酸化ストレスの役割」

254 回 平成 11 年 4 月 28 日 (水)

檜垣 實男 先生 (大阪大学医学部・加齢医学)

「高血圧・循環器疾患の分子医学」

255 回 平成 11 年 4 月 28 日 (水)

牧野 直樹 先生 (九州大学生体防御医学研究所)

「循環器疾患モデルを用いたアンチセンス遺伝子療法の試み」

256 回 平成 11 年 5 月 18 日 (火)

登田 隆 先生 (英国癌研究基金研究所・細胞制御学部門)

「蛋白質分解を介した細胞増殖制御」

257 回 平成 11 年 6 月 3 日 (木)

森松 克美 先生 (フランス国立科学研究センター・キューリー研究所)

「RecA 蛋白質-DNA 複合体の構造」

258 回 平成 11 年 8 月 6 日 (金)

三宅 幸子 先生 (順天堂大学医学部・膠原病内科)

「Cbl によるチロシンキナーゼの抑制機構」

259 回 平成 11 年 9 月 3 日 (金)

川上 浩一 先生 (東京大学医科学研究所・癌体質学研究部)

「脊椎動物のパターン形成に關与する新規 F-box/WD40 リピート蛋白質：ゼブラフィッシュ Hagoromo とマウス Dactylaplasia」

260 回 平成 11 年 9 月 17 日 (金)

Dr. Sankar Mitra (University of Texas, Medical Branch)

“Regulation of base excision repair enzymes (ROS-mediated activation of APE and DNA glycosylases). : Function of APE1 as a negative regulator.”

“Molecular bases for alkylating drug resistance of tumor cells (role of ROS and mitochondria-nuclear crosstalk in apoptosis induction.)”

261 回 平成 11 年 10 月 6 日 (水)

Dr. Seiamak Behram (Strasbourg University, School of Medicine)

“Unusual class I l genes inside, beside and outside the MHC”

262 回 平成 11 年 11 月 18 日 (木)

Dr. Young-Yun Kong (Ontario Cancer Institute / Amgen Institute, Toronto, Canada)

“Roles of the new TNF-family cytokine, OPGL, in osteoporosis, arthritis, and immune system”

263 回 平成 11 年 10 月 27 日 (水)

原田 守 先生 (九州大学生体防御医学研究所・ウイルス学部門・助手)

“Two new antigen recognized by melanoma reactive T cells”

264 回 平成 11 年 12 月 17 日 (金)

嘉村 巧 先生 (Okulahoma Medical Research Foundation)

“Rbx1, an activator of the ubiquitination reaction”

265 回 平成 12 年 2 月 9 日 (水)

Dr. Patrick W. K. Lee (Department of Microbiology and Infectious Diseases, MRC, Canada)

“The tumor suppressor protein 53: biogenesis, DNA binding, and activation upon DNA damage”

266 回 平成 12 年 3 月 17 日 (金)

谷口 克 先生 (千葉大学大学院医学研究科)

「V 14-NKT 細胞の分化と機能」

267 回 平成 12 年 3 月 28 日 (火)

菅井 学 先生 (京都大学遺伝子実験施設・ヒトゲノム解析分野)

「Id2 欠損マウスにおける高 IgE 血症発症機構の解析」

268 回 平成 12 年 3 月 29 日 (水)

鈴木 聡 先生 (大阪大学微生物病研究所)

“Tissue-specific loss of PTEN leads to T cell-mediated autoimmunity and oncogenesis”

269 回 平成 12 年 3 月 29 日 (水)

樗木 俊聡 先生 (慶應義塾大学医学部微生物学教室)

“Critical role of IL-15/IL-15R system in Innate Immunity”